

安城市環境クリーンセンターごみ焼却施設  
基幹的設備改良工事・管理運営委託事業

審査講評

令和8年2月

安城市環境クリーンセンター  
ごみ焼却施設基幹的設備改良工事及び  
管理運営委託事業者選定等審議会

## 第1 事業の概要

### 1. 事業名称

安城市環境クリーンセンターごみ焼却施設 基幹的設備改良工事・管理運営委託事業

### 2. 本事業の対象となる公共施設等

#### (1) 基幹的設備改良工事

- ・安城市環境クリーンセンターごみ焼却施設
- ・管理棟

#### (2) 管理運営事業

- ・安城市環境クリーンセンターごみ焼却施設
- ・安城市環境クリーンセンターし尿処理施設（汚泥再生処理センター）
- ・関連施設

### 3. 公共施設等の管理者

安城市長 三星 元人

### 4. 本事業対象施設の概要

本事業の対象施設概要を表1に示す。

表1 施設概要

項目		内容
敷地面積		48,573㎡
ごみ焼却施設	処理対象	可燃ごみ、可燃残さ
	所在地	安城市根崎町長配71
	建築面積	4,057.87㎡
	延床面積	9,857.83㎡
	処理方式	全連続燃焼式（廃熱ボイラ付ストーカ炉）
	処理能力	240t/日（120t/24h×2炉）
	竣工年月	平成9年3月（平成27年3月基幹的設備改良工事）
	処理主体	本市
し尿処理施設	処理対象	し尿、浄化槽汚泥
	所在地	安城市和泉町大下38番地
	建築面積	2,756㎡
	延床面積	4,541㎡
	処理方式	前処理・前脱水方式＋生物酸化処理方式（下水道放流）
	処理能力	102kL/日（し尿：7kL/日、浄化槽汚泥95kL/日）
	竣工年月	昭和62年3月（平成29年2月改修）
	処理主体	本市
関連施設	管理棟、計量棟、駐車場、屋外トイレ、車庫棟、水処理棟、洗車棟、多目的広場、グランドゴルフ場（あずま屋含む）、汚水処理槽、場内配管（隣接施設の熱供給）、油倉庫、雨水調整池、汚水処理槽（3箇所）、場内配管（余熱利用施設（事業用地隣 温水プール）への熱供給）、外構（構内道路、敷地側溝、雨水・下水接続管、緑地含む）	

### 5. 事業期間

事業期間は次のとおりである。

#### (1) 基幹的設備改良工事

- ごみ焼却施設、管理棟 : 5年間（令和8～令和12年度）
- (2) 管理運営（改良工事中含む）
  - ごみ焼却施設 : 25年間（令和8～令和32年度）
  - し尿処理施設 : 11年間（令和8～令和18年度）
  - その他関連施設 : 25年間（令和8～令和32年度）

## 6. 事業方式

本事業はDBO方式（Design-Build-Operate）により実施する。業務の詳細については、要求水準書に示す。落札者として選定された参加者は、ごみ焼却施設及び管理棟の基幹的設備改良工事、ごみ焼却施設及びし尿処理施設、関連施設の管理運営業務を実施するものとする。なお、ごみ焼却施設及び管理棟の管理運営期間は25年間、し尿処理施設の管理運営期間は11年間とする。ただし、SPC設立の有無については提案とする。

## 7. 本事業の対象となる業務範囲

落札者及び本市が行う事業の範囲は次のとおりである。

### (1) 落札者の業務範囲

#### 1) 事前業務

- ①本事業を実施するためのSPCの設立（設立する場合）
- ②市が実施する補助金申請手続きの支援

#### 2) 建設業務（ごみ焼却施設、管理棟）

- ①基幹的設備改良工事に関する設計業務
- ②既存設備の補修・更新・改造・増設工事業務
- ③既存設備の撤去業務
- ④設備の新設業務
- ⑤工事期間中の仮設設備の設置及び撤去業務
- ⑥工事期間中のごみの外部搬出業務
- ⑦工事期間中のごみの外部処理業務

#### 3) 管理運営業務

- ①受入管理業務
- ②運転管理業務（ごみ焼却施設、し尿処理）
- ③維持管理業務（ごみ焼却施設、し尿処理、関連施設）
- ④環境管理業務（ごみ焼却施設、し尿処理）
- ⑤焼却灰等運搬業務
- ⑥焼却灰等資源化業務
- ⑦焼却灰等処分業務
- ⑧防火・防災管理業務
- ⑨保安・清掃業務
- ⑩見学者対応業務（市内小学生による施設見学を含む一般見学者の対応及び行政視察時の支援）
- ⑪情報管理業務
- ⑫モニタリング業務
- ⑬その他これらに付帯関連する業務

### (2) 本市の業務範囲

#### 1) 基幹的設備改良工事に関する業務

- ①事業者の通勤車両用駐車場及び資材置場の貸与
- ②生活環境影響調査の実施
- ③住民対応

- ④基幹的設備改良工事に係る補助金申請手続
  - ⑤本施設の設計・建設モニタリング
  - ⑥建設業務に係る対価の支払い
  - ⑦その他これらを実施する上で必要な業務（許認可等含む）
- 2) 本施設の運営に関する業務
- ①廃棄物処理許可申請に係る手続き
  - ②処理対象となる一般廃棄物の収集運搬
  - ③古紙及び羽毛布団の搬出
  - ④売電に関する契約業務
  - ⑤管理運営モニタリング
  - ⑥管理運営業務に係る対価の支払い
  - ⑦その他これらを実施する上で必要な業務

## 第2 審査方法等

### 1. 入札の方法

本事業では、入札手続き参加者が、本事業の入札公告に際して配布した入札説明書等に示す参加資格要件を満たしており、かつ参加者の提案内容が、技術的観点等から安城市の要求水準を満足したことを確認したうえで、落札候補者を決定した。

なお、落札者の選定にあたっては、公平性、透明性を確保する観点から、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の10の2に規定する、総合評価一般競争入札方式により実施し、価格要素及び非価格要素により総合的な評価を行い、落札候補者を決定した。

### 2. 落札候補者決定までの経過

落札候補者の決定までの経過は次に示すとおり実施した。

表2 落札候補者決定までの経過

内容	日程
① 入札公告及び入札説明書等の公表	令和7年7月7日(月)
② 現地視察受付期限	令和7年7月11日(金)
③ 資料の閲覧受付期限	令和7年7月17日(木)
④ 現地視察の実施	令和7年7月17日(木)～23日(水)
⑤ 資料の閲覧	令和7年7月24日(木)～30日(水)
⑥ 第1回入札説明書等に関する質問受付期限 (入札参加資格に関する質問)	令和7年7月18日(金)
⑦ 第1回入札説明書等に関する質問回答の公表	令和7年7月30日(水)
⑧ 入札参加資格審査書類受付期限	令和7年8月8日(金)
⑨ 入札参加資格審査結果通知	令和7年8月22日(金)
⑩ 第2回入札説明書等に関する質問受付期限 (入札参加資格以外に関する質問)	令和7年9月5日(金)
⑪ 第2回入札説明書等に関する質問回答の公表	令和7年9月29日(月)
⑫ 対面的対話の確認事項の受付期限	令和7年10月3日(金)
⑬ 対面的対話	令和7年10月9日(木)
⑭ 対面的対話の確認事項に対する回答の公表	令和7年11月4日(火)
⑮ 事業提案書の受付期限	令和7年11月21日(金)
⑯ 事業者プレゼンテーション	令和8年1月9日(金)
⑰ 落札者決定及び公表(審査講評)	令和8年2月19日(木)

### 3. 安城市環境クリーンセンターごみ焼却施設基幹的設備改良工事及び管理運営委託事業者選定等審議会の設置

事業提案書の非価格要素審査は、公平性及び透明性を確保し、専門的知見に基づく評価を行うことを目的に、学識経験者を含む次に示す6名の委員で構成される「安城市環境クリーンセンターごみ焼却施設基幹的設備改良工事及び管理運営委託事業者選定等審議会」（以下「審議会」という。）により実施した。

表3 事業者選定委員会の委員構成

役職	氏名	所属及び役職等	選任区分
会長	藤吉 秀昭	日本環境衛生センター 常勤顧問	学識経験を有する者
副会長	二宮 善彦	中部大学 工学部応用化学科 特任教授	学識経験を有する者
委員	久世 俊彦	久世会計事務所公認会計士・税理士 (第1回～第4回)	学識経験を有する者
委員	中村 誠一	公認会計士中村誠一事務所 公認会計士 (第5回～)	学識経験を有する者
委員	花嶋 温子	大阪産業大学 建築・環境デザイン学部 建築・環境デザイン学科 教授	学識経験を有する者
委員	横山 真澄	安城市役所 企画部長 (第1回～第4回)	その他市長が必要と認める者
委員	林 武宏	安城市役所 環境部長 (第1回～第4回) 安城市役所 企画部長 (第5回～)	その他市長が必要と認める者
委員	鈴木 宜弘	安城市役所 環境部長 (第5回～)	その他市長が必要と認める者

(敬称略・順不同)

4. 審議会の開催経過

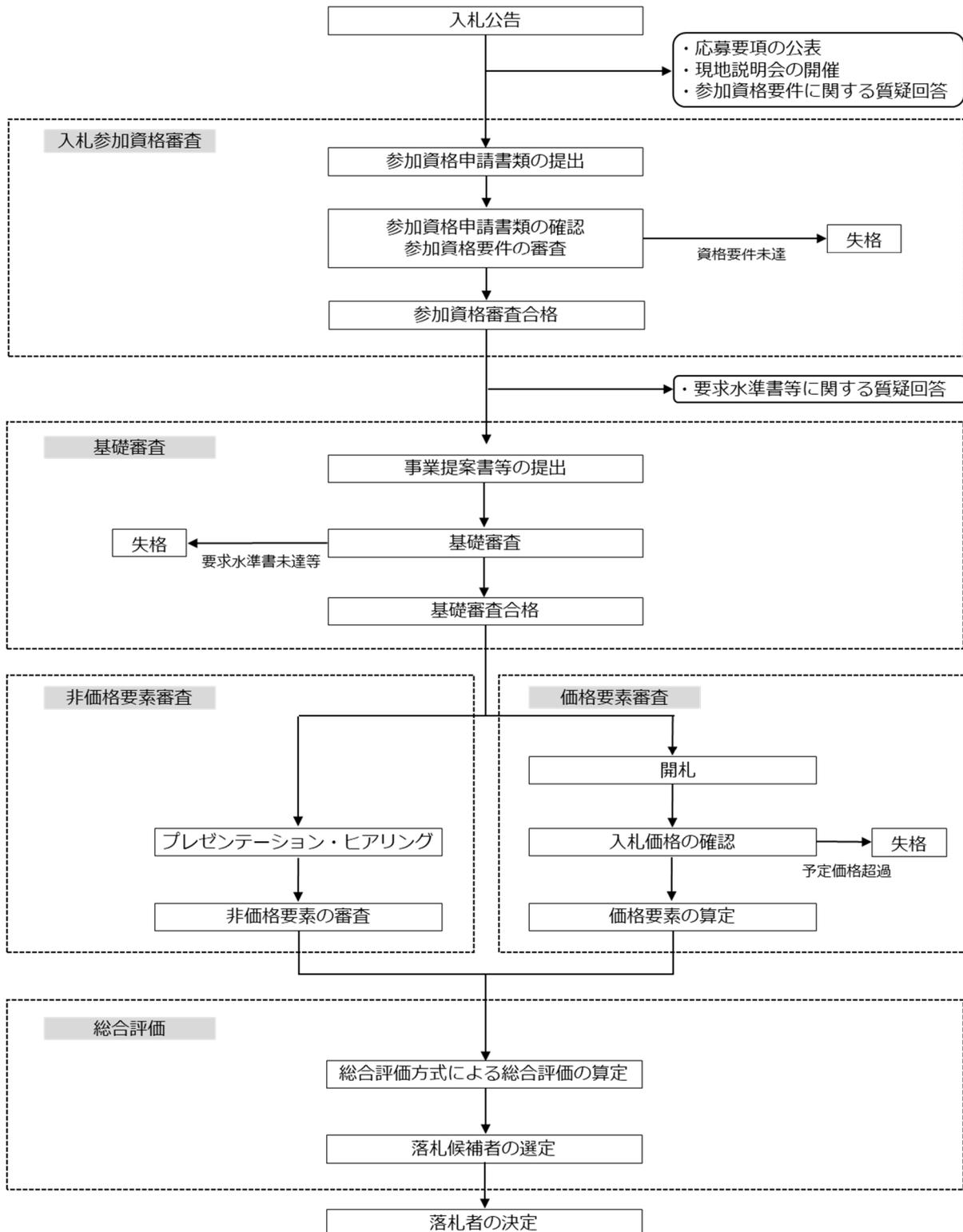
審議会の開催経過は次のとおりである。

表4 審議会の開催経過

日程		主な審議事項
第1回	令和6年 2月1日(木)	(1) 審議会運営規程(案)について (2) 実施方針(案)について
第2回	令和6年 5月23日(木)	(1) 実施方針(案)について(事業者からの質問・意見内容及び回答) (2) 落札者決定基準について (3) 要求水準書(案)(基幹的設備改良工事編及び管理運営業務編)について
第3回	令和6年 9月18日(水)	(1) スケジュール変更に伴う実施方針(案)の再々公表について (2) 落札者決定基準について (3) 入札説明書について (4) 特定事業の選定及び事業方式の答申について
第4回	令和7年 1月21日(火)	(1) 基幹的設備改良工事の工期変更について (2) スケジュール変更に伴う実施方針(案)の再公表3回目について (3) 要求水準書(案)(基幹的設備改良工事編及び管理運営業務編)の公表について
第5回	令和7年 5月28日(水)	(1) 特定事業の選定について (2) 実施方針の公表について (3) 入札公告について
第6回	令和7年12月 18日(木)	(1) 技術提案書に係る評価について (2) 第7回安城市PPP事業審議会技術審査の進め方について
第7回	令和8年 1月9日(金)	(1) 事業者提案ヒアリング及び審査について (2) 最終答申及び審査講評(案)について

5. 落札者決定の手順

落札者決定の手順については、次のとおりである。



※提出書類の提案内容が要求水準未達の場合は失格とする。

図1 落札者決定の手順

## 6. 審査概要

### 1) 参加資格審査

入札参加者から提出された参加資格申請書類より、入札説明書に記載した入札参加者の備えるべき参加資格要件を満たしていることを本市（以下、「事務局」という）において確認した。

### 2) 提案内容の基礎審査

提案書に記載された内容が、本落札者決定基準書に示す基礎審査項目を満たしていることを事務局において確認した。

### 3) 提案内容の定量化審査

提案を求めている審査項目において、表3に示す5段階評価により評価し、各審査項目の得点を合計して、非価格要素点を算定した。

なお、評価は安城市が要求する水準を満たしたうえで、優れた提案に対して評価を行う加点方式であり、選定委員会では、提案書に関するヒアリングを実施し、提案内容の確認等を行ったうえで評価した。

### 4) 価格要素の定量化審査

価格要素の得点化は、入札価格を以下の算定式により得点（少数第三位を四捨五入し小数第二位までとする。）を付与する。

**【算定式】**

$$\text{価格要素評価点} = \text{配点（50点）} \times (\text{最低入札金額} / \text{当該入札金額})$$

### 5) 総合評価点の算出

総合評価の得点は、以下のとおりとした。

**【算定式】**

$$\text{当該入札参加者の総合評価点} = \text{価格要素評価点} + \text{非価格要素評価点}$$

表5 得点化基準

審査項目	配点
価格要素に関する事項	50点
非価格要素（技術要素）に関する事項	50点
合計	100点

表6 非価格要素の評価項目

評価区分		評価項目		配点
1. 施設整備				14
全体計画	工程管理	工期短縮のための工夫について評価する。	1	
		施工中の安定稼働	施工中における既存設備の安定稼働について評価する。	2
			安全かつ円滑な外部搬出方法及び想定搬出期間・量について評価する。	2
		耐震補強計画	計画の実現性について評価する。	2
		工事期間中の環境配慮	工事期間中における、騒音・振動・悪臭対策、その他環境対策を評価する。	1
	設備改造計画	燃焼設備の改造方法	改造方法の工夫を評価する。	1
		ボイラ発電の改造方法	発電量増強の程度、改造方法の現実性を評価する。	2
		排ガス処理設備の改造方法	排ガス処理方式変更に伴う改造方法の適切性を評価する。	1
		中央制御室の改造方法	中央制御室への IOT 関連機器の適切な設計について評価する。	2
2. 長寿命化				13
安定稼働	安定燃焼	ボイラ蒸発量制御の確実性を評価する。	1	
	ごみ量・ごみ質変動	ごみ量・ごみ質の変動時の対策を評価する。	2	
安全対策	施設の安全対策及び復旧対策	緊急対応含む安全対策は優れているか評価する。	2	
	搬入物の管理	処理困難物及び搬入不適物の混入防止のための搬入管理方法は適切であるかを評価する。	1	
	モニタリング	セルフモニタリングは適切な計画であるかを評価する。	1	
長寿命化	ハード面の工夫	各部品において長寿命な部品の採用や交換・改造しやすい部品の採用について評価する。	3	
	運営管理面の工夫	長寿命化のための交換・改修・改造が適切な計画であるかを評価する。	3	
3. 地域のエネルギーセンター				5
余熱利用	発電効率	新施設と同じ基準をクリアすることを目標として定量評価する。	5	
4. 最終処分量の削減・資源化				4
焼却残渣の発生抑制	焼却灰等の発生抑制の工夫を評価する。	2		
	長期的な資源化の確保	長期的な資源化を確実にを行うためのバックアップ対策の内容・関心表明を評価する。	2	
5. 災害時の施設機能の確保と防災拠点への関与				4
自然災害対策	地震等の大規模災害時の対策などハード・ソフト面での内容を評価する。	3		

評価区分	評価項目		配点	
	防災拠点への関与	災害時に市内防災拠点へ、施設のエネルギーを供給できる計画となっているかを評価する。	1	
6. その他			10	
	環境配慮	供用中の環境配慮	排ガス及び騒音・振動・悪臭対策等の環境対策が優れているか評価する。	2
	環境学習	学習設備や教材の内容・陳腐化対策	既存施設の限られた空間の中での環境学習の内容や主に、社会科見学で訪れる小学4年生を対象とした教材が優れているか、また、それらの陳腐化対策について評価する。	4
	住民交流	住民が参加できるイベント	住民が参加できる優れた地域イベントの計画について評価する。	2
	地元貢献	地元企業の協力等	工事請負額、管理運営の外注額等を評価する。	2
計			50	

表7 審査基準及び得点化方法

評価	評価の意味合い	得点の付与方法
A	当該評価項目において特に優れている	配点×1.00
B	AとCの中間程度	配点×0.80
C	当該評価項目において優れている	配点×0.60
D	CとEの中間程度	配点×0.40
E	当該評価項目において優れているとは認められない	配点×0.20

### 第3 落札候補者の選定結果

#### 1. 参加者

表8に示すとおり、参加者は1者であった。審査において参加者の匿名性を確保するにあたり用いるグループ名は、「ひまわりグループ」とした。

表8 入札参加確認申請書類提出グループ

グループ名	ひまわり
代表企業	荏原環境プラント株式会社中部支店
協力企業	三重中央開発株式会社 クボタ環境エンジニアリング株式会社中部支店 株式会社東亜環境コーポレーション 株式会社ウィズウェイストジャパン 株式会社油研 株式会社RKT メルテック株式会社 新日本電工株式会社 中部リサイクル株式会社

#### 2. 入札参加資格確認

令和7年7月7日に入札公告を行い、令和7年8月8日を期限として入札参加資格申請を受け付けたところ、以下の1グループから申請があった。

事務局は、入札参加資格の確認を行い、令和7年8月22日に代表企業に対して入札参加資格を有することを書面にて通知した。

#### 3. 技術提案書の基礎審査

令和7年11月21日を期限として入札参加資格を有する1グループから技術提案書が提出された。

事務局は、参加者から提出された技術提案書の内容が、要求水準書に示す要件を満たしていることを確認した。

令和7年12月19日に参加者の代表企業に対して基礎審査を通過したことを書面にて通知した。

#### 4. 非価格要素の定量化審査

令和8年1月9日に、審議会において、非価格要素の定量化審査を行った。審査に際しては、参加者による提案書に関する説明（プレゼンテーション）及び委員による提案内容に対する質疑（ヒアリング）を実施し審査を行った。

非価格要素審査の得点化にあたっては、参加者から提出された非価格要素審査に関する提出書類をもとに落札者決定基準に示した各評価項目について、表7に示す5段階評価を行った。

審査結果は表9に、非価格要素の各審査項目についての講評は表10に示すとおりである。

表9 非価格要素に関する審査結果

評価区分		評価項目		配点	グループ名 ひまわり
1. 施設整備				<b>14</b>	<b>9.33</b>
全体計画	工程管理	工期短縮のための工夫について評価する。	1	0.70	
	施工中の安定稼働	施工中における既存設備の安定稼働について評価する。	2	1.47	
		安全かつ円滑な外部搬出方法及び想定搬出期間・量について評価する。	2	1.47	
	耐震補強計画	計画の実現性について評価する。	2	1.13	
	工事期間中の環境配慮	工事期間中における、騒音・振動・悪臭対策、その他環境対策を評価する。	1	0.63	
設備改造計画	燃焼設備の改造方法	改造方法の工夫を評価する。	1	0.73	
	ボイラ発電の改造方法	発電量増強の程度、改造方法の現実性を評価する。	2	1.40	
	排ガス処理設備の改造方法	排ガス処理方式変更に伴う改造方法の適切性を評価する。	1	0.67	
	中央制御室の改造方法	中央制御室への IOT 関連機器の適切な設計について評価する。	2	1.13	
2. 長寿命化				<b>13</b>	<b>8.26</b>
安定稼働	安定燃焼	ボイラ蒸発量制御の確実性を評価する。	1	0.63	
	ごみ量・ごみ質変動	ごみ量・ごみ質の変動時の対策を評価する。	2	1.27	
安全対策	施設の安全対策及び復旧対策	緊急対応含む安全対策は優れているか評価する。	2	1.33	
	搬入物の管理	処理困難物及び搬入不適物の混入防止のための搬入管理方法は適切であるかを評価する。	1	0.53	
	モニタリング	セルフモニタリングは適切な計画であるかを評価する。	1	0.60	
長寿命化	ハード面の工夫	各部品において長寿命な部品の採用や交換・改造しやすい部品の採用について評価する。	3	2.00	
	運営管理面の工夫	長寿命化のための交換・改修・改造が適切な計画であるかを評価する。	3	1.90	
3. 地域のエネルギーセンター				<b>5</b>	<b>4.00</b>
余熱利用	発電効率	新設施設と同じ基準をクリアすることを目標として定量評価する。	5	4.00	
4. 最終処分量の削減・資源化				<b>4</b>	<b>2.60</b>
焼却残渣の発生抑制	焼却灰等の発生抑制の工夫を評価する。		2	1.20	

評価区分		評価項目		配点	グループ名 ひまわり
	長期的な資源化の確保	長期的な資源化を確実にを行うためのバックアップ対策の内容・関心表明を評価する。		2	1.40
5. 災害時の施設機能の確保と防災拠点への関与				4	2.47
	自然災害対策	地震等の大規模災害時の対策などハード・ソフト面での内容を評価する。		3	1.90
	防災拠点への関与	災害時に市内防災拠点へ、施設のエネルギーを供給できる計画となっているかを評価する。		1	0.57
6. その他				10	5.41
	環境配慮	供用中の環境配慮	排ガス及び騒音・振動・悪臭対策等の環境対策が優れているか評価する。	2	1.27
	環境学習	学習設備や教材の内容・陳腐化対策	既存施設の限られた空間の中での環境学習の内容や主に、社会科見学で訪れる小学4年生を対象とした教材が優れているか、また、それらの陳腐化対策について評価する。	4	2.00
	住民交流	住民が参加できるイベント	住民が参加できる優れた地域イベントの計画について評価する。	2	1.07
	地元貢献	地元企業の協力等	工事請負額、管理運営の外注額等を評価する。	2	1.07
計				50	32.07

表 10 非価格要素に関する事項の講評

評価区分		評価項目		講評
1. 施設整備				
全体計画	工程管理	工期短縮のための工夫について評価する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3D データ化など最新の設計手法を用いて、効率的に設計期間を短縮する提案がなされている。</li> </ul>	
	施工中の安定稼働	<p>施工中における既存設備の安定稼働について評価する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮設減温減圧装置設置を含めた安定稼働方法について提案がなされている。</li> <li>・EPC（設計・建設・調達）と O&amp;M（運転管理・メンテナンス）を一体運営することで、工程管理を適切に実施する提案がなされている。</li> <li>・片炉運転時のタービン発電の運用について優れた提案がなされている。</li> </ul>	
		<p>安全かつ円滑な外部搬出方法及び想定搬出期間・量について評価する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部搬出において十分な裕度が確保できた提案がなされている。</li> <li>・提案内容は、夜間の外部搬出や既設の空間を活用した仮設積み替え設備の設置等、工事等に支障を来さないように、綿密に計画されており、細かい工夫がみられる提案がなされている。</li> </ul>	
	耐震補強計画	計画の実現性について評価する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重要度係数 1.25 を満足する補強に加えて機器の荷重増加に伴う補強等、綿密に計画された提案がなされている。</li> </ul>	
	工事期間中の環境配慮	工事期間中における、騒音・振動・悪臭対策、その他環境対策を評価する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低騒音・低振動で排出ガス対策を施した機種（方式）を積極的に採用した優れた提案がなされている。</li> <li>・周辺道路の通行に配慮した車両動線計画の提案がなされている。</li> </ul>	
設備改造計画	燃焼設備の改造方法	改造方法の工夫を評価する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状にはない耐火物構造の改良による設備長寿命化について優れた提案がなされている。</li> <li>・燃焼設備およびボイラの高温高圧化に加え、発電設備の能力向上、排ガス処理設備の高効率化・省スペース化、中央制御室の改造等を実施について</li> </ul>	

評価区分		評価項目		講評
				<p>優れた提案がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基幹的設備改良工事後の長期的な管理運営を見据えた管材料、管厚を選定する等の工夫がみられる提案がなされている。</li> </ul>
		ボイラ発電の改造方法	発電量増強の程度、改造方法の現実性を評価する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定格出力6, 100kWの実現性や設備保護による長寿命化について優れた提案がなされている。</li> <li>・ 要求水準書よりも高い水準で計画されており、実現性の高い提案がなされている。</li> </ul>
		排ガス処理設備の改造方法	排ガス処理方式変更に伴う改造方法の適切性を評価する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 無触媒脱硝の導入により、安全性の向上に加え、設備コストおよびメンテナンスコストの削減に寄与する提案がなされている。</li> </ul>
		中央制御室の改造方法	中央制御室へのIOT関連機器の適切な設計について評価する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大型モニター画面の採用により、視認性を向上させる提案がなされている。</li> </ul>
2. 長寿命化				
	安定稼働	安定燃焼	ボイラ蒸発量制御の確実性を評価する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自動燃焼制御による安定した蒸気供給について優れた提案がなされている。</li> <li>・ 自動燃焼制御により、ボイラ蒸発量の設定値に応じて出力を制御する提案がなされている。</li> </ul>
		ごみ量・ごみ質変動	ごみ量・ごみ質の変動時の対策を評価する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害ごみ受入代の確保は、過去の運転でも実施しておらず、新しい提案として、特に優れた提案がなされている。</li> <li>・ 蒸発量一定制御および負荷追従制御により、負荷変動時においても安定運転を迅速に維持でき、さらに、ごみ量・ごみ質の変動にも対応可能である優れた提案がなされている。</li> </ul>
	安全対策	施設の安全対策及び復旧対策	緊急対応含む安全対策は優れているか評価する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ データベース管理の提案がなされている。</li> <li>・ 施設の安全・復旧対策、搬入物管理、モニタリングに関しても、適切かつ有効な提案がなされている。</li> </ul>
		搬入物の管理	処理困難物及び搬入不適物の混入防止のため	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多重チェックによる搬入管理ならびに啓発活動により、処</li> </ul>

評価区分		評価項目		講評
			の搬入管理方法は適切であるかを評価する。	理困難物および搬入不適物の混入防止を図る提案がなされている。
		モニタリング	セルフモニタリングは適切な計画であるか評価する。	・複数のモニタリング体制が確立された提案がなされている。
	長寿命化	ハード面の工夫	各部品において長寿命な部品の採用や交換・改造しやすい部品の採用について評価する。	・メーカー独自開発ロボットや専用検査工具による点検手法に関する優れた提案がなされている。 ・長寿命部品の採用に加え、交換・改造が容易な部品を採用する提案がなされている。
		運営管理面の工夫	長寿命化のための交換・改修・改造が適切な計画であるか評価する。	・炉内に足場を組まずに広範囲を詳細に把握し点検できる提案がなされている。 ・ボイラをはじめ、基幹的設備改良工事の対象機器の長寿命化について、適切な提案がなされている。
3. 地域のエネルギーセンター				
	余熱利用	発電効率	新施設設と同じ基準をクリアすることを目標として定量評価する。	・現施設規模において、基幹的設備改良工事での発電効率について優れた提案がなされている。 ・ハード面・運営面の工夫に加え、先端技術を導入した提案がなされている。
4. 最終処分量の削減・資源化				
	焼却残渣の発生抑制	焼却灰等の発生抑制の工夫を評価する。		・独自の薬剤適量添加手法による提案がなされている。 ・各種の安定燃焼技術により、焼却残渣の発生抑制を図る提案がなされている。
	長期的な資源化の確保	長期的な資源化を確実にを行うためのバックアップ対策の内容・関心表明を評価する。		・複数の灰資源化事業者を協力企業としての確保することにとどまらず、バックアップ企業も加えた体制を構築しており、長期的に安定した資源化体制が確立された特に優れた提案がなされている。 ・金属回収等の特に資源化率の高い手法が採用されており、長期的な灰資源化事業者の確保に加え、灰の安定的な資源化を促進する優れた提案がなされている。

評価区分	評価項目		講評
5. 災害時の施設機能の確保と防災拠点への関与			
自然災害対策	地震等の大規模災害時の対策などハード・ソフト面での内容を評価する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の被災パターンを想定した災害時薬剤供給協定締結による安定供給体制に関する優れた提案がなされている。</li> <li>・大規模災害に備えた基幹的設備改良工事に加え、事前準備および緊急時の体制整備を行い、充実した支援体制により施設運営をサポートする提案がなされている。</li> </ul>
防災拠点への関与	災害時に市内防災拠点へ、施設のエネルギーを供給できる計画となっているかを評価する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害発生時には、市民の一時避難スペースとして施設を開放するとともに、地域への熱・電力供給を早期に再開し、地域の復旧に貢献できる提案がなされている。</li> </ul>
6. その他			
環境配慮	供用中の環境配慮	排ガス及び騒音・振動・悪臭対策等の環境対策が優れているかを評価する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主環境測定の実施に関する提案がなされている。</li> <li>・排ガス濃度の上昇傾向を早期に検知し、環境保全に資する対応を行うための提案がなされている。</li> </ul>
環境学習	学習設備や教材の内容・陳腐化対策	既存施設の限られた空間の中での環境学習の内容や主に、社会科見学で訪れる小学4年生を対象とした教材が優れているか、また、それらの陳腐化対策について評価する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境啓発設備・コンテンツについては、種類に応じて更新頻度を設定する提案がなされている。</li> <li>・環境啓発設備・コンテンツ作成にあたり、経験者を有するスタッフ等で構成する専門部署での対応が提案されている。</li> </ul>
住民交流	住民が参加できるイベント	住民が参加できる優れた地域イベントの計画について評価する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グランドゴルフ大会の開催等は過去に実施しておらず、優れた提案がなされている。</li> <li>・Webサイトを開設し、迅速に各種情報を発信するなど、住民の参加を促す提案がなされている。</li> </ul>
地元貢献	地元企業の協力等	工事請負額、管理運営の外注額等を評価する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内事業者への積極的な発注に関する提案がなされている。</li> <li>・工事請負額や管理運営の外注額等も明示した具体的な提案がなされている。</li> </ul>

#### 4. 入札価格の定量化審査

提案書を提出した参加者の立会いのもとで令和8年1月9日に開札を行い、各入札参加者の入札価格が予定価格の範囲内であることを確認した。

開札結果から、入札価格の定量化審査に関する得点化を行った。得点化の結果は、表11に示すとおりである。

なお、予定価格、は表12に示すとおりである。

表11 入札価格の定量化審査結果

項目	配点	グループ名
		ひまわり
入札価格(税抜)	—	52,090,000,000 円
建設業務(税抜)		15,440,000,000 円
管理運営業務(税抜)	—	36,650,000,000 円
価格要素点	50	50

表12 予定価格

予定価格		52,104,429,092 円
内訳	建設業務	15,446,355,455 円
	管理運営業務	36,658,073,637 円

※消費税及び地方消費税額を含まない。

#### 5. 総合評価点の算出

「非価格要素の定量化審査の得点」、「入札価格の定量化審査の得点」を加算し、表13に示すとおり、総合評価点を算出した。

表13 総合評価点の算出結果

項目	配点	グループ名
		ひまわり
代表企業		荏原環境プラント株式会社中部支店
非価格要素点	50	32.07
価格要素点	50	50.00
総合評価点	100	82.07

#### 6. 落札候補者の選定

審議会は、上記の結果に基づき「ひまわりグループ」（代表企業：荏原環境プラント株式会社中部支店）を落札候補者として選定した。

#### 第4 総評

参加者ひまわりグループ(代表企業:荏原環境プラント株式会社中部支店)の提案は、本事業の目的を理解し、既設の限られた制約の中で安城市の目指す施設整備を的確に捉えた提案であった。このような優れた提案をまとめるには、相当の時間と労力を要するものであり、心から敬意を表するとともに、深く感謝申し上げる。

審議会では、厳正なる審査の結果、ひまわりグループを基幹的設備改良工事・管理運営事業において、安城市の期待に総合的に応えることができる提案者として選定した。

基幹的設備改良工事においては、特に、工事期間中は1炉運転を可能とし外部搬出量を可能な限り低減させるとともに、重機の配置を考慮し安全対策とごみの搬入に影響が出ない工夫がされていた。基幹改良工事内容においては、エネルギー回収の向上に資するボイラの高圧化、蒸気タービン発電機のカパシタ追加に加えて排ガス処理設備や中央制御システムの高度化が図られていた。また、自然災害に対しては耐震化や災害ごみの受け入れを考慮した内容となっているなど提案内容は高く評価された。

管理運営においては、災害時薬剤供給協定締結による安定供給体制の構築やランドゴルフ大会の開催等のこれまでの施設運営にはない住民参加イベントは本市が求める水準を超える提案であった。

今後、ひまわりグループと安城市が良好な信頼関係を築きながら、本事業を円滑に推進し、事業目的及び施設整備基本方針に沿ったごみ処理事業の実現に寄与することを期待する。本事業をより良いものとするために、本審議会において、以下の要望事項を提示する。

#### 要望事項

- ①基幹的設備改良工事期間中は施設を稼働させながらの工事となるため、工事の安全管理及び施設の安定稼働の両立を図るとともに周辺住民の生活環境に配慮すること。
- ②基幹的設備改良工事においては安城市の掲げる施設整備基本方針を踏まえ、安全性の高い施設を計画すること。また、現在の劣化状況を適切に調査・把握した上で、工事計画を作成すること。
- ③基幹的設備改良工事期間中のごみ処理について、可能な限り本施設で中間処理を行い、外部搬出量の低減に努めること。また、ごみの外部搬出にあたっては、適切かつ慎重に実施し、工事や管理運営に影響を及ぼさないこと。
- ④管理運営期間中は、焼却灰等の資源化を継続できるよう受入先の確保に努めること。
- ⑤管理運営期間中における環境配慮の具体的な評価内容を示し、安心・安全な施設運営に努めること。
- ⑥想定される南海トラフ地震等による大規模災害後においても、安定的な稼働ができる施設及び体制とすること。
- ⑦災害時の薬剤供給協定締結は近隣地域との同時被災も考慮し、広域での連携も含めて検討すること。
- ⑧自然災害等による緊急時の対応教育の内容や教育の手法を明確に示すこと。
- ⑨モニタリング手法や評価手法を明確にし、実効性のあるモニタリング計画にすること。
- ⑩環境学習及び住民交流の具体的な企画体制を検討し、具体的な計画の内容を示すこと。  
また、企画の立案にあたっては、安城市、地域住民との協議の上で検討すること。

ひまわりグループは要求水準書及び提案内容を確実に履行するとともに要望事項についても真摯な対応に努めていただきたい。また、ひまわりグループと安城市が誠実な協議を重ね、本事業がより良いものとなることを切望する。

令和8年2月

安城市環境クリーンセンターごみ焼却施設基幹的設備  
改良工事及び管理運営委託事業者選定等審議会  
会長 藤吉 秀昭